

令和 7 年度 事業の経過及びその成果（要約）

母子保健広報・普及・相談・顕彰の 4 事業

事業全体のポイント

事業	実績の概要
1 広報事業	月刊紙「母子保健」12 号（第 792～803 号）発行／有料冊子 10 種 約 22 万部／無料冊子 19 種 約 677 万部／HP・SNS・YouTube 等で発信
2 普及事業	関係者向けセミナー現地 16 回、妊産婦・乳幼児向け講習会 現地 58 回・オンライン 15 回
3 相談事業	全国 80 相談室で 3,971 回開催、相談者 36,955 人、オンライン相談 12 回（44 人）
4 顕彰事業	第 47 回母子保健奨励賞 受賞者 15 名、11/18 表彰式、秋篠宮皇嗣妃殿下へご接見

総括

令和 7 年度は、広報・普及・相談・顕彰の 4 事業を通じて、最新かつ正確な母子保健情報を全国の関係者と家庭へ届けました。冊子は約 690 万部を配布し、対面とオンラインを組み合わせた講習会・相談により、地域の妊産婦と乳幼児家庭への支援を継続しました。

- ・ 関係者向け研修では「成長曲線の活用」「周産期メンタルヘルス」「父親支援」が重点テーマ。
- ・ 相談事業は 3,971 回・36,955 人。発育・発達と食事・栄養に関する相談が中心。
- ・ 奨励賞の顕彰により、地域で活躍する専門職の取り組みを全国に紹介。

1 母子保健広報事業

母子保健関係者、妊産婦、乳幼児の母親と家族を対象に、学識経験者の指導の下、月刊紙・保健冊子・インターネットで最新かつ正確な情報を発信しました。

(1) 月刊紙・保健冊子等による広報

- 月刊紙「母子保健」：専門紙として毎月企画・作成し、全国の行政・保健・医療機関へ無料配布。4月号「妊産婦と嗜好品」から3月号「分娩と痛みについて」まで12テーマ（6月「乳幼児のタッチメント」、9月「災害に備える」、12月「夫婦のメンタルヘルス」、2月「乳幼児とその家族の睡眠」など）。
- 有料配布冊子（計220,400部）：母子健康手帳112,705部、小児慢性特定疾病児童手帳24,495部、母子保健テキスト20,000部、離乳食応援BOOK12,000部、外国語/日本語併記母子健康手帳2025 38,200部ほか。
- 無料配布冊子（計6,765,300部）：自治体・保健機関を通じて配布。日本宝くじ協会の補助を受け、4冊を新規作成。

無料冊子（主なもの）	区分	数量
乳幼児の事故防止と応急手当 わが家の安心ガイドブック	補助事業	969,700
何が必要？どう選ぶ？ママと赤ちゃんのための用品	補助事業	879,800
からだサポートブック 女性のための健康ガイド	補助事業	859,900
受診前からかんたんチェック！小児科受診ノート	補助事業	659,900
母子健康手帳副読本	通常	786,000
妊娠期から知っておきたい 赤ちゃん和妈妈のための電磁波のはなし	通常	645,000
おいしい！かんたん！マタニティ食事レッスン	通常	622,000

(2) インターネットによる広報

HP「赤ちゃん＆子育てインフォ」への情報掲載、メルマガの定期配信、X・Instagramでの発信により教室集客に一定の効果がありました。YouTubeチャンネル（抱っこ・沐浴など基本育児）は多くの自治体HPからリンクされ、全国の母子保健活動を支えています。

2 母子保健普及事業

政令市等と連携し、学識経験者の指導の下、セミナー・講習会を原則無料で実施しました。関係者向け現地 16 回（うち 1 回はオンデマンド配信併用）、妊産婦・乳幼児向け現地 58 回・オンライン 15 回です。

① 母子保健関係者向け

事業名	開催地	回数	受講者数	主なテーマ
スキンケア&産前・産後ケア講座	仙台・札幌・京都・広島	4	290	子どもの皮膚疾患、切れ目のない支援
母子保健セミナー	富山市	1	54	発達障害の親支援、電磁波
同 オンデマンド（2 か月）	—	1	再生 266	同上
母子保健指導者研修会	静岡・名古屋・宇都宮・札幌・岡山・和歌山・港区・東大阪	8	817	成長曲線、周産期メンタルヘルス、父親支援
月刊『母子保健』セミナー	北区	1	174	発達障害（特性）の理解と支援
母子支援専門職セミナー	横浜市（接続数）	1	78	周産期メンタルヘルスと栄養
妊産婦の食事と栄養	文京区（接続数）	1	117	若年女性のやせ、腸内環境

② 妊産婦・乳幼児とその家族向け

事業名	形式・開催地	回数	受講者等	備考
母子保健教室	現地：札幌・さいたま・船橋・文京・横浜・名古屋・京都・大阪・神戸・西宮・尼崎・福岡	34	2,652 人	札幌 8 回、文京・大阪・西宮各 4 回
同 オンライン	全国	2	256 接続	歯と口の健康
はじめての育児講座	札幌・墨田・文京・名古屋・大阪	15	727 組	札幌 7 回、墨田 4 回
ワーキング・プレママパパの体験教室	札幌市（現地／オンライン）	3+3	134 人／114 接続	育児体験、だっこひも、マタニティヨガ
わくわくマタニティパーク	新宿区・福岡市	2	38 人	FP による教育資金講座を併催
プレママ＆ママのための母子保健教室	秦野市	1	39 人	無痛分娩、育児の疑問解決
はじめての離乳食講座	オンライン	4	334 人	スキンケア・離乳食（相談者数）

3 母子保健相談事業

保健師・助産師による対面の母子保健相談を各相談室で毎週定期的に実施し、妊娠・子育ての悩みや不安の軽減に努めました。全国で 3,971 回開催（109 回休室）、オンライン相談も 12 回（毎月 1 回）行いました。

項目	相談室数	実施回数	相談者数
全国合計（29 都道府県）	80	3,971	36,955
北海道（最多の相談室数）	11	560	4,576
埼玉県（相談者数が最多級）	9	458	5,662
神奈川県	8	404	3,876
オンライン相談（4～3 月）	—	12	44

相談対象の内訳：乳児 26,273 人（71.1%）、幼児 9,538 人（25.8%）、産後の母性 913 人、妊娠中の母性 231 人。

相談内容（延べ 88,843 件）：計測 28,759 件、発育・発達 25,898 件、食事・栄養 13,231 件、日常生活・躾 7,757 件、疾病・事故 2,736 件、健康・予防接種 2,598 件が上位を占め、発育・栄養への関心の高さが表れています。

4 母子保健功労顕彰事業

第 47 回母子保健功労顕彰会 母子保健奨励賞として、地域の母子保健功労者 15 名を選考・顕彰しました。受賞者の模範的な活動が全国に波及し、母子保健の持続的な発展と国民の健康の保持増進に寄与することが期待されます。

選考経過

年月日	事項
令和 7 年 4 月 1 日	自治体へ推薦依頼、HP・月刊紙で周知
6 月 20 日	募集締切り
7 月 20 日～8 月 20 日	審査委員による書面審査（第 1 次）
9 月 3 日／9 月 12 日	審査委員会（第 2 次）／審査委員会（第 3 次）・役員会
9 月 16 日	理事会へ審査選考結果を報告
11 月 18 日	表彰式典（都内）、秋篠宮邸にて秋篠宮皇嗣妃殿下へご接見

募集ポスターは A2 判 200 部・A4 判 3,400 部を作成して全国の自治体・関係団体に配布。受賞者名・理由は HP で公表し、記録誌 1,200 部を配布しました。

受賞者（15 名：保健師 8 名、助産師 5 名、医師 2 名）

北海道 鎌田美鈴（保）／岩手県 菅野文子（保）／秋田県 丹代諭（医）／石川県 川島真希（助）／福井県 岩佐奈智（保）／三重県 坂井田麻祐子（医）／京都府 宮川友美（助）／兵庫県 上原恵美（保）／山口県 遠田千春（保）／大分県 伊藤さおり（保）／宮崎県 西迫佳恵（助）／さいたま市 上林小百合（助）／横浜市 鈴木裕子（助）／姫路市 大塩美智子（保）／葛飾区 井出陽子（助） ※（保）保健師・（助）助産師・（医）医師